



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 アンドール株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 4640

URL <http://www.andor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小志田 一喜

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 野内 信雄

TEL : (03) 3243-1711

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,501	(8.3)	107	(10.6)	108	(9.9)	82	(9.2)
19年3月期第3四半期	1,386	(△0.4)	97	(89.4)	99	(103.4)	75	(153.0)
(参考)19年3月期	1,860		122		126		98	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	15	90	—	—
19年3月期第3四半期	14	56	—	—
(参考)19年3月期	18	92	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	1,299		579		42.9	107	60	
19年3月期第3四半期	1,322		502		35.7	91	10	
(参考)19年3月期	1,380		530		35.8	95	43	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	80		△46		△70		187	
19年3月期第3四半期	118		△388		151		205	
(参考)19年3月期	204		△400		96		224	

３．平成２０年３月期の連結業績予想（平成１９年４月１日～平成２０年３月３１日） **【参考】**

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	2,150 (15.6)	150 (22.5)	150 (18.7)	130 (32.6)	25.09

４．その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔注〕詳細は、４ページ【定性的情報・財務諸表等】 ４．その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期のわが国経済は、資源高による原油価格等の高騰による値上げから個人消費の冷え込みとサブプライムローンによる世界経済の後退により、景気の動向は回復基調を継続しつつも、混迷を増す状況にあります。

このような状況のもと、当社グループのパッケージソフトは、本年２月より新製品である３次元CADソフト「CADSUPER Work」の発売開始を控え、既存の自社商品の販売が伸びずに売上高が減少しました。

エンジニアリングサービス事業においては、前期に設立した子会社であるアンドールプロテック㈱及びアンドールシステムソリューションズ㈱が売上を伸ばし、順調に推移したことにより売上高は増加しました。

事業の種類別セグメントの業績は下記のとおりです。

I. ソフトウェア関連事業

① プロダクツ事業

自社開発商品を中心としたソフトウェアや付帯するハードウェア機器の販売及び導入・保守・運用サービスを行う事業であります。

この事業全体の売上高は３６２百万円（前年同期比 7.7%減）となりました。

(ア) パッケージソフト開発・販売

CADSUPER FX II、EASYPDRAW の主力製品に加え、Web によって全文書や図面を管理する「Web リスト」等 CAD/CAM 開発で永年培った技術・ノウハウを基にユーザーノウハウを加え、製品ラインアップの充実に努めております。

売上高は、２７２百万円（前年同期比 6.7%減）となりました。

(イ) システム商品販売

仕入商品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努め、商品ラインアップの充実に努めております。CATIA、Pro/ENGINEER 等の３次元 CAD、各種 CAE ソフトウェアを取り扱っております。

売上高は、２１百万円（前年同期比 20.6%減）となりました。

(ウ) 導入運用サービス

自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

売上高は、６９百万円（前年同期比 7.2%減）となりました。

② エンジニアリングサービス事業

「ものづくりのシステムを追求するプロフェッショナル集団」をコンセプトに、製造業の設計・製造分野の効率化を図るコンサルティング、システムの受託開発や、３次元 CAD を使った設計、組込みソフトウェア開発、システムエンジニア・プログラマー等のアウトソーシングサービス及び受託開発を行っております。

この事業の売上高は１，１２３百万円（前年同期比 13.1%増）となりました。

II. 不動産事業

当第３四半期より、会計方針の変更に伴い、不動産の賃貸を売上高に計上しております。

この事業の売上高は１５百万円となりました。

この結果、当第３四半期における売上高は、１，５０１百万円（前年同期比 8.3%増）となり、営業利益は１０７百万円（前年同期比 10.6%増）、経常利益１０８百万円（前年同期比 9.9%増）、四半期純利益８２百万円（前年同期比 9.2%増）となりました。

## ２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末における総資産は、借入金の返済等による現金及び預金の減少３７百万円、無形固定資産の減少３５百万円等によって、前連結会計年度末に比べて８０百万円減少し、１，２９９百万円になりました。

負債につきましては、１年内返済予定長期借入金の減少８３百万円等により前連結会計年度末に比べて１２９百万円減少し７２０百万円になりました。純資産は利益剰余金が増加したこと等により５４７百万円となりました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は税金等調整前四半期純利益が１０５百万円（前年同期比 18.1%増）、減価償却費が５８百万円等の収入はあったものの、仕入債務の減少３２百万円、その他資産の増加３８百万円長期借入金の返済１１１百万円に伴う支出等により前連結会計年度末と比較して、３６百万円減少して１８７百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、８０百万円（前年同期比 32.1%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が１０５百万円となり、減価償却費が５８百万円、売上債権の減少２３百万円と資金の増加がありましたが、賞与引当金の減少２２百万円、仕入債務の減少３２百万円、その他資産の増加３８百万円等により資金の減少があったことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、４６百万円（前年同期比 88.0%減）となりました。これは子会社株式取得による支出１４百万円、無形固定資産の取得による支出１５百万円、投資有価証券の取得による支出１４百万円等と資金の減少があったことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、７０百万円（前第３四半期連結会計期間は１５１百万円の収入）となりました。これは主に短期借入及び長期借入４１百万円による資金の増加はありましたが、長期借入金の返済１１１百万円と資金の減少があったことによるものであります。

## ３．連結業績予想に関する定性的情報

平成 19 年 11 月 22 日付にて発表しました「平成 20 年 3 月期中間決算短信」の業績予想を変更しておりません。

本年 2 月より、新たに 2 次元・3 次元統合 CAD パッケージ「CADSUPER Works」の出荷を開始し、新規市場への参入を計画しております。通期の業績見通しは、計画のとおり、売上高 2, 150 百万円、営業利益 150 百万円、経常利益 150 百万円、当期純利益 130 百万円を予定しております。

## ４．その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

無

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

四半期連結財務諸表等の作成に際しては、影響額が軽微なものについては簡便な手続きを採用しております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

これまで不動産賃貸に係わる収益及び費用は営業外損益に計上しておりましたが、前連結会計年度の賃貸用不動産購入により、不動産事業の重要性が増し、かつ、定款の事業目的を変更したことにより、経営

実態をより適切に表示するために、当第３四半期より、それぞれ売上高及び売上原価に計上しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、売上高が１５百万円、売上原価は９百万円、売上総利益及び営業利益は、５百万円増加しております。また、営業外収益の「不動産賃貸収入」は１５百万円、営業外費用の「不動産賃貸費用」は９百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前中間純利益に与える影響はありません。

また、上記変更に伴い、当該不動産を投資その他の資産の「投資不動産」から建物、土地に振替えた結果、建物が１１７百万円、土地が１６０百万円増加するとともに、投資その他の資産の「投資不動産」が２７８百万円減少しております。

５．（要約）四半期連結財務諸表

（１）（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円未満切捨）

科 目	前年同四半期 （平成 19 年 3 月 期第 3 四半期末）	当四半期 （平成 20 年 3 月 期第 3 四半期末）	増 減		（参考） 平成 19 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>（資産の部）</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1.現金及び預金	200,824	182,459	△18,364	△9.1	219,484
2.受取手形 及び売掛金	353,871	380,704	26,832	7.6	404,534
3.有価証券	4,534	5,167	632	14.0	4,696
4.たな卸資産	8,396	7,509	△887	△10.6	5,653
5.繰延税金資産	5,685	11,312	5,627	99.0	13,763
6.その他	35,803	61,614	25,811	72.1	22,515
7.貸倒引当金	△912	△1,310	△398	△43.7	△795
流動資産合計	608,203	647,457	△39,254	△6.5	669,853
<b>II 固定資産</b>					
(1)有形固定資産					
1.建物及び構築物	29,654	142,580	112,926	380.8	29,506
2.土地	28,400	189,346	160,948	566.7	28,400
3.その他	4,978	8,504	3,525	70.8	6,275
有形固定資産合計	63,032	340,431	277,399	440.1	64,181
(2)無形固定資産					
1.ソフトウェア	152,619	106,076	△46,542	△30.5	141,471
2.その他	2,826	2,826	—	—	2,826
無形固定資産合計	155,446	108,903	△46,542	△29.9	144,298
(3)投資その他の 資産					
1.投資有価証券	174,053	156,516	△17,536	△10.1	181,138
2.破産債権・ 更生債権	41,080	—	△41,080	—	—
3.投資不動産	281,217	—	△281,217	—	280,498
4.その他	48,128	54,036	5,907	12.3	47,451
5.貸倒引当金	△48,480	△7,400	41,080	84.7	△7,400
投資その他の 資産 合計	495,999	203,152	△292,847	△59.0	501,689
固定資産合計	714,478	652,487	△61,990	△8.7	710,169
資産合計	1,322,681	1,299,944	22,736	1.7	1,380,022

科 目	前年同四半期 (平成19年3月 期第3四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年 3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1.支払手形及び 買掛金	31,685	26,663	△5,022	△15.9	56,561
2.短期借入金	45,000	41,000	△4,000	△8.9	30,000
3.1年内返済予定 長期借入金	151,000	63,750	△87,250	△57.8	147,500
4.未払法人税等	3,981	13,193	9,212	231.4	18,258
5.賞与引当金	21,184	37,092	15,908	75.1	59,997
6.その他	165,649	188,900	23,251	14.0	174,555
流動負債合計	418,501	370,600	△47,901	△11.4	486,872
<b>II 固定負債</b>					
1.長期借入金	318,500	284,750	△33,750	△10.6	282,250
2.繰延税金負債	21,694	10,649	△11,045	△50.9	21,090
3.退職給付引当金	47,941	49,141	1,200	2.5	45,461
4.役員退職慰労 引当金	12,104	3,366	△8,738	△72.2	12,642
5.その他	1,103	1,898	795	72.1	1,484
固定負債合計	401,343	349,806	△51,537	△12.8	362,929
負債合計	819,845	720,406	△99,438	△12.1	849,801
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1.資本金	501,889	501,889	—	—	501,889
2.資本剰余金	1,498,112	—	△1,498,112	—	1,498,112
3.利益剰余金	△1,557,139	45,929	1,603,069	—	△1,534,580
4.自己株式	△691	△691	—	—	△691
株主資本 合計	442,171	547,127	104,956	23.7	464,730
<b>II 評価・換算差額 等</b>					
1.その他有価証券 評価差額金	29,795	10,305	△19,489	△65.4	29,664
<b>III 少数株主持分</b>	30,869	22,104	△8,765	△28.4	35,825
純資産 合計	502,836	579,537	76,701	15.3	530,220
負債、純資産合計	1,322,681	1,299,944	△22,736	△1.7	1,380,022

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成19年 3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	1,386,484	1,501,057	114,573	8.3	1,860,617
<b>II 売上原価</b>	1,006,552	1,101,131	94,578	9.4	1,353,207
売上総利益	379,932	399,926	19,994	5.3	507,409
<b>III 販売費及び一般管理費</b>					
1. 広告宣伝費	8,979	14,660	5,681	63.3	11,554
2. 支払手数料	26,286	34,793	8,507	32.4	37,336
3. 給料手当	88,777	90,666	1,889	2.1	112,025
4. 減価償却費	3,522	2,846	△676	△19.2	4,773
5. その他	155,191	149,475	△5,716	△3.7	219,236
販売費及び一般管理費計	282,757	292,442	9,684	3.4	384,927
営業利益	97,174	107,484	10,309	10.6	122,482
<b>IV 営業外収益</b>					
1. 受取利息	604	740	136	22.7	846
2. 受取配当金	2,602	2,790	187	7.2	2,602
3. 不動産賃貸収入	8,072	4,181	△3,890	△48.2	14,123
4. 負ののれん償却額	—	341	—	—	—
5. その他	3,727	1,175	△2,551	△68.5	4,421
営業外収益合計	15,006	9,230	△5,776	△38.5	22,994
<b>V 営業外費用</b>					
1. 支払利息	6,429	6,371	△58	△0.9	8,875
2. 不動産賃貸費用	6,474	1,451	△5,023	△77.6	9,811
3. 雑損失	201	57	△144	△71.6	410
営業外費用合計	13,105	7,879	△5,226	△39.9	19,097
経常利益	99,075	108,835	9,760	9.9	126,379
<b>VI 特別利益</b>	—	525	525	—	—
<b>VII 特別損失</b>	9,844	3,972	△5,872	△59.6	6,854
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益	89,230	105,387	16,156	18.1	119,524
法人税、住民税及び事業税	3,242	17,045	13,802	425.7	14,836
法人税等調整額	△10,409	△3,509	△6,900	△66.3	1,963
少数株主利益	115	2,436	2,320	—	4,701
第3四半期(当期)純利益	75,462	82,397	6,934	9.2	98,021

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第３四半期連結会計期間（平成１８年４月１日～平成１８年１２月３１日）

（単位：千円未満切捨）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成１８年３月３１日残高	501,889	1,498,112	△1,632,602	△493	366,906
当四半期の変動額					
四半期純利益			75,462		75,462
自己株式の取得				△197	△197
株主資本以外の項目の 第３四半期変動額（純額）					
当四半期の変動額 合計	—	—	75,462	△197	75,264
平成１８年１２月３１日残高	501,889	1,498,112	△1,557,139	△691	442,171

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
平成１８年３月３１日残高	51,823	51,823	36,487	455,217
当四半期の変動額				
四半期純利益				75,462
自己株式の取得				△197
株主資本以外の項目の 第３四半期変動額（純額）	△22,028	△22,028	△5,617	△27,646
当四半期の変動額 合計	△22,028	△22,028	△5,617	47,618
平成１８年１２月３１日残高	29,795	29,795	30,869	502,836

当第３四半期連結会計期間（平成１９年４月１日～平成１９年１２月３１日）（単位：千円未満切捨）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己資本	株主資本合計
平成１９年３月３１日残高	501,889	1,498,112	△1,534,580	△691	464,730
当四半期の変動額					
欠損填補		△1,498,112	1,498,112		—
四半期純利益			82,397		82,397
株主資本以外の項目の 第３四半期変動額（純額）					
当四半期の変動額 合計	—	△1,498,112	1,580,510	—	82,397
平成１９年１２月３１日残高	501,889	—	45,929	△691	547,127

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
平成１９年３月３１日残高	29,664	29,664	35,825	530,220
当四半期の変動額				
欠損填補				—
四半期純利益				82,397
株主資本以外の項目の 第３四半期変動額（純額）	△19,359	△19,359	△13,721	△33,080
当四半期の変動額 合計	△19,359	△19,359	△13,721	49,316
平成１９年１２月３１日残高	10,305	10,305	22,104	579,537

前連結会計年度（平成１８年４月１日～平成１９年３月３１日）

（単位：千円未満切捨）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己資本	株主資本合計
平成１８年３月３１日残高	501,889	1,498,112	△1,632,602	△493	366,906
連結会計年度中の変動額					
当期純利益			98,021		98,021
自己株式の取得				△197	△197
株主資本以外の項目の 連結会計年度中変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	98,021	△197	97,824
平成１９年３月３１日残高	501,889	1,498,112	△1,534,580	△691	464,730

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計		
平成１８年３月３１日残高	51,823	51,823	36,487	455,217
連結会計年度中の変動額				
前期純利益				98,021
自己株式の取得				△197
株主資本以外の項目の前 連結会計年度中変動額（純額）	△22,159	△22,159	△661	△22,821
前連結会計年度中の変動額合計	△22,159	△22,159	△661	75,003
平成１９年３月３１日残高	29,664	29,664	35,825	530,220

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

	前四半期 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)	当四半期 (自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日)	(参考) 平成 19 年 3 月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	89,230	105,387	119,524
減価償却費	71,750	58,926	91,539
負ののれん償却額	—	△341	—
貸倒引当金の増減額	196	514	△40,999
役員退職慰労引当金 の増減額	1,586	△9,275	2,124
退職給付引当金の増減 額	6,790	3,679	4,310
賞与引当金の増減額	△28,874	△22,905	9,938
受取利息及び受取配当 金	△3,206	△3,531	△3,449
支払利息	6,429	6,371	8,875
たな卸資産評価損	427	—	427
固定資産除却損	32	—	32
投資有価証券評価損	9,384	3,972	6,394
売上債権の増減額	△4,616	23,829	△55,279
たな卸資産の増減額	△2,707	△1,855	35
仕入債務の増減額	△22,975	△32,234	1,900
未払消費税等の増減額	△3,514	10,278	△7,441
その他資産の増減額	△21,552	△38,936	32,817
その他負債の増減額	44,738	281	60,342
小計	143,119	104,162	231,093
利息及び配当金の受取 額	3,217	3,541	3,450
利息の支払額	△5,324	△6,524	△7,856
法人税等の支払額	△22,535	△20,784	△22,539
営業活動によるキャッシ ュ・フロー	118,476	80,394	204,148

	前四半期 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)	当四半期 (自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日)	(参考) 平成 19 年 3 月期
区分	金額	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
子会社株式取得による支出	—	△14,400	—
有形固定資産の取得による支出	△57,107	△1,414	△59,871
無形固定資産の取得による支出	△34,900	△15,532	△41,208
投資不動産の取得による支出	△282,462	—	△282,467
投資有価証券の取得による支出	△8,390	△14,348	△12,085
その他投資の収入	2,326	1,158	3,487
その他投資の支出	△7,583	△2,162	△8,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,123	△46,699	△400,223
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	△287,000	11,000	△302,000
長期借入による収入	512,000	30,000	512,000
長期借入金の返済による支出	△73,500	△111,250	△113,250
自己株式の取得による支出	△197	—	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,302	△70,250	96,552
IV 現金及び現金同等物の増減額	△118,345	△36,554	△99,552
V 現金及び現金同等物期首残高	323,703	224,181	323,703
VI 現金及び現金同等物四半期末（期末）残高	205,358	187,626	224,181

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期（自平成１８年４月１日至平成１８年１２月３１日）及び前連結会計年度（自平成１８年４月１日至平成１９年３月３１日）において、当社グループはソフトウェア関係の専門メーカーとして、同一セグメントに属するソフトウェアの開発・販売およびソフトウェア販売に付随するシステム商品の販売、受託によるソフトウェア開発（作成請負・アウトソーシングサービス）を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当四半期（平成２０年３月期第３四半期）

（単位：千円未満切捨）

	ソフトウェア関連事業	不動産事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
1. 外部顧客に対する売上高	1,485,933	15,124	1,501,057	—	1,501,057
2. セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,485,933	15,124	1,501,057	—	1,501,057
営業費用	1,305,729	9,261	1,314,991	78,582	1,393,573
営業利益	180,203	5,863	186,066	(78,582)	107,484

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期（自平成１８年４月１日至平成１８年１２月３１日）、当第３四半期（自平成１９年４月１日至平成１９年１２月３１日）及び前連結会計年度（自平成１８年４月１日至平成１９年３月３１日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第３四半期（自平成１９年４月１日至平成１９年１２月３１日）  
海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第３四半期（自平成１８年４月１日至平成１８年１２月３１日）及び前連結会計年度（自平成１８年４月１日至平成１９年３月３１日）において、海外売上高は連結売上高の１０％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。